

衣笠山からの便り

第120号 令和7年9月15日発行

発行元 社会福祉法人元気村グループ

社会福祉法人心の会 理事長 神成裕介

住所 〒238-0026 横須賀市小矢部4-19-4

電話 046-850-3301 (法人本部)

ファックス 046-852-4040

◎さくらの里 (デイサービス・ケアマネ) 小矢部 4-19-4 TEL852-0500

◎さくらの里山科 (特別養護老人ホーム・ショートステイ) 太田和 5-86-1 TEL857-6333

◎さくらの家二番館 (高齢者グループホーム) 小矢部 4-15-8 TEL850-3125

◎さくらの家三番館 (高齢者グループホーム) 小矢部 4-15-7 TEL850-5688

★さくらグループHP <http://sakura2000.jp/>

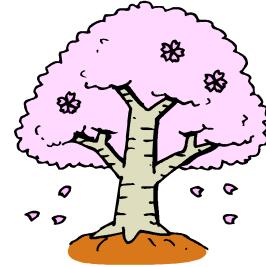
◎あすなろ学苑 (障害者就労継続支援 B型事業) 小矢部 4-19-4 TEL852-0600

◎あすなろの家 (知的障害者グループホーム) 第1・2・3・5・8 横須賀市内 TEL852-1221 (第3あすなろの家)

◎相談室あすなろ (衣笠障害者相談サポートセンター) 公郷町 2-7-19 ヨーワ衣笠ビル1階 TEL853-3415

★あすなろ学苑HP <https://asunarogakuen.com/>

◎まちの診療所つるがおか (地域支援型診療所 内科在宅診療部他) 鶴が丘 2-3-9 TEL825-5121



元気村グループ一斉行事 納涼祭 さくらの里山科で開催

8月23日(土)

元気村グループでは、全国の施設が一斉に、納涼祭を開催します。心の会でも、さくらの里山科を会場にして、納涼祭を開催しました。



心の会にとっては初めての納涼祭だったので、元気村グループが支援してくれました。東京、千葉、神奈川にあるグループ施設から、総勢50名以上の職員さん達が応援に来て下さり、たくさんの模擬店を運営してくれたのです。そのおかげで、たくさんの模擬店がならぶ、盛大な納涼祭となりました。ご入居者様とそのご家族様も大喜びしていました。地域の方も大勢いらして下さって、大変盛り上がった納涼祭になりました。いらして下さった皆様、そして応援に来て下さった皆様、ありがとうございました。

ペットと暮らせる特養から

新入居のチビ子ちゃん

マルプー (マルチーズとトイプードルのミックス) のチビ子ちゃんが入居しました。お婆ちゃん (飼い主のご入居者様) は、昨年ご入居されて、犬の定員と犬ユニットの空が一致するのを待っていました。8月にタイミングが合い、2-2ユニットにお引越しをし、チビ子ちゃんを迎えることができました。



法人施設活動報告：あすなろの家

知的障害者グループホーム
第一（小矢部）・第二（小矢部）
第三（小矢部）・第五（若宮台）
第八（太田和）



町内会の盆踊り 第1・2・3 あすなろの家

毎年恒例の衣笠小学校で行われる町内の盆踊りに参加してきました。夏の盆踊りの雰囲気の中、町内会が運営する屋台で焼きそばやかき氷を食べ、ビールを飲み気分は最高でした。ステージの上や矢倉の周りで、盆踊りを踊り、楽しい夏の夜となりました。



法人施設活動報告：あすなろ学苑

就労継続支援B型事業



チャレンジドカップで銀賞受賞

全国の障害者施設のパン、焼き菓子全国技術大会であるチャレンジカップ決勝大会が2025年8月23日に東京で開催されました。北海道から沖縄まで、全国から先発された16の福祉施設チーム、パン部門、焼き菓子部門に分かれて競いあつたのです。

あすなろ学苑は、地元衣笠山公園のさくらをイメージしたさくらのサブレで出場。苑生3名が、材料をまぜ生地を作る工程、さくらの花びらを塩抜きしカットする工程、サブレを伸ばし型で抜く工程、クッキーにさくらの花びらをアイシング(お砂糖のペーストで絵を描く)する工程等を分担しながら、仕上げていきました。



2次予選を勝ち抜き決勝大会までの1ヶ月の間、メンバーは作業の合間を縫って何度も何度も練習をし本番に備えとこともあり、結果は見事に銀賞！出場した苑生と職員はもちろん、会場に応援にかけつけたご家族の皆様も大喜び。審査員を努めて下さった著名なパティシエの先生方からも、見た目の美しさ、サブレの触感の高さをお褒め頂きました。さくらの製品ですので来春発売する予定です。

法人施設活動報告：相談室あすなろ

衣笠障害者サポートセンター
相談室あすなろ



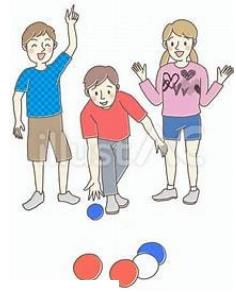
ボッチャ大会に出場

副室長：林菜穂

横須賀市の障害相談支援事業所全体会でボッチャ大会が開催されました。ボッチャとは、目標となる白いボールをめがけて、赤、青のボールを6級ずつ、投げたり、転がしたりして、どれだけ近づけるかを競うスポーツです。年齢、性別、障がいの有無等に関わらず楽しむことができるユニバーサルスポーツとして注目されています。

今回は2回目の大会です。当所の相談員の中に前回大会で準優勝した人がいたので、皆優勝を狙って参加しました。結果は残念！相談室あすなろのメンバーの最上位は4位という成績に終わりましたが、夢中になって汗を流し楽しむ事が出来ました。

衣笠商店街掲示板に横須賀市主催のボッチャ教室のポスター開催案内が貼られているのを目にした時、障害の有無関係なく楽しめるスポーツである事を実感しました。様々な障害を持つ方が集まる障害者相談支援事業所にぴったりのスポーツです。もっと腕を上げて次回は優勝を目指したいです。



法人施設活動報告：さくらの里山科・ショートステイ

マシュマロ食べ比べ

ショートステイの人気イベントの一つが、食べ比べです。8月は、マシュマロの食べ比べを行いました。プレーン味、イチゴ味カルピス味の3種類のマシュマロを食べ比べて頂きました。

皆さん、「こんなマシュマロ初めて」など、賑やかにおしゃべりしながら、楽しく食べていました。一番人気は…、やはりイチゴ味のマシュマロでした。



法人施設活動報告：さくらの里山科・特養ホーム

納涼祭

元気村グループの仲間施設の応援のおかげで模擬店は実に7種類。たこ焼き、焼きそば、フランクフルト、焼き鳥、台湾かき氷、ソフトクリーム、生ビール。さらには、射的、ストライクアウトなどのアトラクションも3種類あり、大変盛大なお祭りになりました。



法人施設活動報告：さくらの里ケアマネジャー

訪問リハビリ その1

ケアマネ部門ケアマネジャー・須藤直子



訪問リハビリとは、住み慣れた自宅で専門家(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など)によるリハビリ指導を受けることができる介護保険サービスです。訪問リハビリの利用は基本的に利用者が自宅から外に出ることが難しい場合や、専門的なリハビリを自宅で受けたい時に適しています。本人の心身の状態が比較的安定していて、主治医が自宅でのリハビリーションが必要と判断した場合に、主治医の指示書に基づいてリハビリが行われます。

法人施設活動報告：さくらの家

高齢者グループホーム 二番館、三番館



スイカ割りイベント 二番館

さくらの家二番館の夏の風物詩がスイカ割りです。毎年屋上で開催しています。ご入居者様お一人お一人がスイカ割りに挑戦！最後は皆で美味しくスイカを食べます。灼熱の太陽を浴びながら食べるスイカの美味しさは格別です。もちろん熱中症をさけるため、屋上にいるのは短時間に抑えました。



法人施設活動報告：さくらの里デイサービス

夏祭り



さくらの里名物、デイルームで行う夏祭り。今年も賑やかに開催しました。夏祭りの一番の目玉は、何と言っても、室内で行う盆踊りです。大勢のお客様が踊りの輪に加わり、大盛り上がりでした。

射的や輪投げなどのアトラクションでも盛り上がり、たこ焼きも大好評。今年も皆さんに喜んでいただけた素晴らしい夏祭りになりました。

法人施設活動報告：まちの診療所つるがおか

感染予防ワクチンの歴史的意義

—インフルエンザ流行の季節に向けて— 院長：白井輝

内科・在宅診療

リウマチ科

くらしのリエゾン（総合相談）



外来診療体制

時間＼曜日	月	火	水	木	金	土
9時～12時	○	○	○	○	○	○
15時～17時半	×	○	○	×	○	×

※第5土曜日のみ休診致します

"全国でクマ被害急増"というニュースをたびたび耳にする。今日このごろですが、大自然に古来から生息するクマによる被害は、地震や台風と同様に"自然災害"とも言われています。このように目に見える脅威とは真逆な"自然災害"が、コロナやインフルエンザ等の目に見えない微生物による感染症です。

歴史的に最も古い感染症はエジプトのミイラからもその痕跡が発見されたという天然痘ですが、その後、コレラ、ペスト、スペイン風邪、梅毒、結核、HIV、SARS、新型インフルエンザ、新型コロナ...。長い歴史の中で人類はさまざまな感染症という自然災害にさらされ、多くの人々の命が奪われてきました。ペストにより中世ヨーロッパの人口の3分の1が亡くなり、スペイン風邪による死者は世界で2000万人とも4000万人とも言われています。



ここで、人類の平均寿命を振り返ってみると、ホモサピエンスが誕生した頃の寿命は約30歳、19世紀頃は約40歳、そして現在は80歳以上となっており、最近の100年間で倍以上も寿命が伸びました。その背景には生活環境の変化もありますが、医学の発展が果たした役割は大きく、特に感染症の原因（様々なウイルスや細菌）を見つけ、予防法（ワクチン）と治療法（抗生素など）を開発したことが人類の長寿化に大きく貢献したのです。まさに、人類の歴史が大自然の驚異と戦い、目覚しい成果を上げた証しとも言えます。

もちろんワクチンや抗生素にも一定の副作用があり、特に重篤なアナフィラキシーショックには十分な注意が必要です。しかし、このような死に至る重篤な副作用はごくまれであり、その頻度は、インフルエンザワクチンで80万人に一人、コロナワクチンで10万人に一人との結果が出ておりますが、世界中で何十億人もの人たちへの予防効果を考えると、その恩恵には計り知れないものがあるといえます。

これからはインフルエンザ流行の季節となります。ワクチン接種は自らが感染症の「被害者」となるのを予防するだけでなく、人間社会での「加害者」とならないための社会的意義もあります。どうか皆様、積極的にワクチン接種を受けてください。

ご寄付の御礼とお願い

6月～8月の3ヶ月で、多数のご寄付を頂きました。貴重なご寄付ありがとうございました。

◎34名様からおやつ（お菓子、果物）を頂きました。

◎14名様から合計1,950枚以上の紙マスクを頂きました。

◎15名様から合計2,650枚以上の使い捨て手袋を頂きました。

◎21名様からペットフード・用品、供花のご寄付を頂きました。

◎8名様からタオル、オムツ、家具、衛生用品、食品等を頂きました。

◎15名様から合計456,100円とビール券のご寄付を頂きました。



*複数回ご寄付を頂いた方、お一人で数種類のご寄付を下さった方は、重複してカウントしております。ご了承下さい。

※紙マスクと使い捨て手袋が不足しております。ご寄付頂けると助かります。

※食材費が高騰しておりますので、各ホームのご入居者様のおやつに使えるお菓子（個包装された固くない物）をご寄付頂けると助かります。よろしくお願い致します。

※ご寄付は次の口座へのお振込みにてお願い致します。

①みずほ銀行 衣笠支店 普通口座 口座番号：1956146

口座名義 社会福祉法人心の会

②ゆうちょ銀行 口座記号：00280-5 口座番号：0048529

口座名義 社会福祉法人心の会

※ご寄付金については領収証をお送りしますので、法人本部までお知らせ頂ければ幸いです。

社会福祉法人の寄付領収証は確定申告等にご利用頂けます。

広告